

ボランティア・市民活動情報誌

コンボ Comv

2020

4

号
vol. 245

communication × voluntary



特集 誰一人取り残さない

ユースディージェーズ
～SDGs「持続可能な開発目標」～

より人間らしい地球社会の創造のために貧困なき、
一つなるアジア（One Asia Community）をめざして

公益社団法人アジア協会アジア友の会

7 まちがいが許されるレストラン「てへぺろキッチン」 特別養護老人ホーム ラヴィータ ウーノ（此花区）

8 厚生労働大臣表彰受賞「グループすみれ」、「東住吉区朗読ボランティア“なでしこ会”」



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」



より人間らしい地球社会の
創造のために貧困なき、
(One Asia Community)をめざして

公益社団法人アジア協会アジア友の会(JAFS)

アジアに水を贈る活動は、公益社団法人アジア協会アジア友の会(以下、JAFS)の事務局長村上公彦さんが留学時代に出会った仲間と始めました。その後40年間、アジアの人々のネットワークによる国際民間協力団体として、アジア18カ国、69カ所の現地の提携団体とネットワークを形成し、「誰もが生まれてきて良かったと思える社会」をめざして、活動を続けてきました。

水くみはこどもたちの
一日仕事

現在、JAFSがプロジェクトを進めているネパールの山村には、水源がわずかしかなかったり、細いパイプから出る水は少量で、10リットルの水瓶みずびんを満たすには8分もかかります。この1

井戸ができて水に喜ぶこどもたち(フィリピン)



日本人との協働での共同水場の完成に歓喜

本のパイプから水を汲むため、毎日何百人もの行列ができます。水を運ぶ往復の時間も考えたら一日仕事となり、他のことに時間を使うことが出来ません。

アジアの多くでは、水汲みは、こども、特に女の子の役目です。水汲みに多くの時間を取られて、学校に通うことも、自分たちの夢を描くこともできない状況にあります。

また、水道が通っている都会でも、週に1度、数時間しか水が来ず、地下のタンクに水を貯めていても、乾季になると不足気味になります。災害時や紛争の被災者に対して、最低基準ラインとされる、スフィアスタンダード

ドでは、1日1人あたり必要な水の量は15ℓですが、わずか20ℓの水で、家族5、6人の飲料水から洗濯、風呂、トイレなど生活水の全てを賄うという現状です。このように世界のあちこちで、最低ラインを下回る厳しい状態で、生死をかけて水を求める人が存在しています。

現地との協働作業が自立へつながる

近年、気候や地殻変動の影響によって災害が多発し、貧困の連鎖が起きている。そんな中、JAFSは、「より人間らしい地球社会の創造のために貧困なき、一つなるアジアOne Asia Communityをめざして」という言葉を掲げ、18カ国のアジアネットワークを大切に活動しています。

現地では、井戸やパイプラインを建設する時、他の地域へ影響がないか調査を行い、村人の合意を得て慎重に進めています。村のコミュニティに専門家を交えた管理組合を立ちあげ、現地の人との協働作業を必ず心がけます。村人たち自らが、安全できれいな水を管理維持できるようにすれば、人々の自立にもつながります。

日本のNGOがいくら課題意識を持って取り組んでも、現地の人に課題

を解決しようという意識がなければ、現地で、取り残されている人々たちを見つけることはできません。「同じ国の人たちが、課題解決の意識をもって初めて、取り残されている人たちに直接救いの手を差し伸べることができます」とJAFS 副事務局長の熱田典子さん。

0.01%の淡水を世界で分け合う意識づくりが大切

1994(平成6)年に工事を開始したフィリピンのパンタン水道建設プロジェクトでは、村中に水が行き渡るまでに5年の歳月がかかりました。当初、日本人が作業をしていても、太平洋戦争など歴史的な背景も影響し、村人たちは手伝うことはありませんでした。しかし、毎日、日本からきたボランティアが汗水たらして二本パイプをつ

なが姿に、村人たちの心が動き、活動に参加するようになりました。「市民活動は、人の心を動かす素晴らしい力を秘めています」と熱田さんは言います。

水を贈る活動は、個人、企業や学校からワークキャンプを通じて参加することができま。参加者は、海外での経験で視野を広げ、キャリアアップや進路を考える一助となっています。ま

た、水を贈ることと同時に、水の正しい使い方を広めていくことは、不衛生な状態での病気の感染拡大を防ぎ、自分たちの健康を守ることを伝えることにつながります。

日本人にとつても、地球上のすべての水のうちで、約0.01%しかない淡水を世界中で分け合っているという意識をもつこと、環境だけでなく自分自身の健康にもつながるということを知ることが大切です。事務所で月1回開催している「ぞうすいの会※1」の参加や、「アジア人命の水を届けよう募金※2」を日常生活に取り入れるなど様々な形で参加が「誰一人取り残さない持続可能な社会」に近づく一歩になります。



アジアへ命の水を届けよう募金



副事務局長 熱田典子さん

※1 P12情報マーケット②に掲載
※2 募金箱については、団体へお問い合わせ、お取り寄せください

【問合せ】 公益社団法人アジア協会アジア友の会
〒550-0002 西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5階
TEL.06-6444-0587(平日午前10時~午後6時) FAX.06-6444-0581
asia@jafs.or.jp https://jafs.or.jp/

誰一人取り残さない

エンタープライズ

SDGs「持続可能な開発目標」



今年度、情報誌COMVOでは、SDGsの17の目標に紐づけて、大阪の様々なボランティアや市民活動の取組みを紹介してきました。

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された、2030年までの行動計画のことで、「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」のスローガンのもと、17の目標と169のターゲットで構成されています。日本では、2017(平成29)年11月8日に「一般社団法人日本経済団体連合会」が7年ぶりに、SDGs達成を前面に打ち出す「企業行動憲章」を改定しました。

こども食堂とSDGs

2020(令和2)年1月19日に開催した「地域こども支援ネットワーク事業シンポジウム」こども食堂からみんなの居場所へ」では、特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長の湯浅誠さん、特定非営利活動法人西成チャイルド・ケア・センター代表理事の川辺康子さん、大阪市ボランティア・市民活動センターの上野谷加代子所長を交えた鼎談を行いました。この中で、話題となった、「こども食堂とSDGs」についてを抜粋して掲載します。

上野谷

こども食堂は、こどもを真ん中に置いて、こどもが楽しい場所、安心で安全な場所。誰も排除しない地域社会になつてほしいというものです。「こども食堂」と「SDGs」の関連についてどう考えますか。

湯浅

こども食堂の活動は「SDGs」の発想とピタッと一致しますね。こども食堂は地域の中で行われている活動ですが、こめられている魂は、SDGsそのものだと思います。SDGsの17のゴールの中に「貧困をなくそう」というものがあります。SDGsのス

鼎談者



社会活動家
東京大学先端科学技術研究センター特任教授
特定非営利活動法人
全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長

湯浅 誠さん



こども食堂ネットワーク関西 代表
特定非営利活動法人
西成チャイルド・ケア・センター 代表理事

川辺 康子さん



同志社大学 社会学部 教授
大阪市ボランティア・市民活動センター 所長

上野谷 加代子さん

ピリットと、こども食堂のスピリットとピタッと符合するところに価値があると思います。

上野谷

こども食堂は、食べ物のフードロスの問題、食をどこから得ているのかという輸入輸出の問題。そして、野山含めて山林をどう残すのか、海の問題、大気の問題などと関連して考えることができます。そういう意味では、こども食堂というのは、今からの世の中を引つ張っていく素敵な実践ですね。SDGsは、企業が積極的に取り組んでいます。最近では、多くの企業がこども食堂を応援していますが、

もつと企業にお願いすることや、企業の役割についてどう思いますか？

川辺

2、3年前は、企業から「どんなことをして欲しいですか」とよく質問されてきました。けど最近「こういうことができます。こういう提供ができますが、どうですか」と聞かれるようになりました。企業さんの意識が変わってきたようです。

1年程前、冷凍食品を取り扱う会社の人が「輸入食品は段ボール単位で検品、その中の一袋だけ検品するが一度開封すると段ボールごと破棄されてしまう。その食材をどうにか活用で



第1部では、湯浅誠さんによる基調講演が行われました

「きないか」と考え、子ども食堂での活用を思いつき提案され、それ以降、事業提携しています。「こんなことは、全然関係ないかも」と思うことでも、どこかで繋がることもある。ぜひ勇気を出して一歩踏み出して、団体に連絡をしていただけならなと思っています。

湯浅

子ども食堂に、すごく関心持つてくださる企業さんが増えていますね。私

もあなたもこの社会の一員。この世界の当事者です」ということ。有限性に意識が向いてきたと思います。極端な話、地球がなくなったら、企業活動ができない。地域がなくなったらその商売は成り立たない。そういう意味では共存していくしかないということを私たちも企業さんも意識するようになっています。

人も物もお金も含めてこの有限な資源を上手に使うと思ったら、どっ

ちか勝つて、どっちか負けるというやり方は、あんまり長続きしないんじゃないかと。それで、WinWinを考えて、みんなが笑顔になれるような地域を作ることが実は自分たちの商売のためにもなる。なんとかしたいという、オーナー創業者がとつても増えている気がします。

上野谷

ある飲食店が、子ども食堂をしてくれていて、子どもたちが「美味しかった」と帰っていく姿を見

ていると、嬉しいですよ。このあたりの商店街やお店を潰したらあかんという気になります。例えば、ボランティアが来てくれるなら、開店前2時間くらいは、お店を貸してもいいとか。大阪は商店が多いので、できる範囲で手を挙げてくれるお店は出てくると思います。

子ども食堂だけ

じゃなくて、みんな食堂として、お年を取られた方も、身体が不自由な方も、必要な人たちが必要な時に出かけて行って「ああ、僕はここにきていいんだ。私はここに来て、みんなと話ができるし、食べれるんだ」という。そういう場所を日本全体に作りたい。それには、まずは大阪からできることをと思います。

湯浅

子ども食堂は、子どもは無料で、大人からは300円とか500円とかいただいているところが多いです。そうすると、大人たちが食へに来てくれると、

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

SDGsとは...
 (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)
 2015(平成27)年9月、国連サミット全会一致で採択され、「誰一人取り残さない(No one will be left behind)」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年までの達成をめざす17の国際目標。(その下に、169のターゲット、232の指標が決められている)
 ※参考「持続可能な開発目標」(SDGs)について平成31年1月外務省

2030年に誰も取り残さない社会を実現しよう

一般社団法人ソーシャルギルド 代表理事 山本佳史さん

最近では、テレビや電車内の広告など街中でも「SDGs」のロゴを目にする機会が増えています。今はブームのようになっていますが、実際は、自分たちの日頃の活動にタグ付けするようになるのです。

まずSDGsの目標には、達成まで非常に時間がかかるものから、一人ひとりが変わることによって達成可能な身近なものまであります。

個人は何かを始めるきっかけに、企業にとっては、経営戦略の一つにもなり、社員が互いの価値観を共有するツールにもなります。また、テーマ型のNPO・NGOは、自分たちの活動を考えるきっかけになります。

日頃のボランティアや市民活動が、まさにSDGsにつながるものです。まずは自分たちの身近な取り組みから考えてください。SDGsのそれぞれの目標は繋がっています。ゴールから考えて活動に参加する、活動から参加してみよう、ゴールを考える、どちらでもいい。SDGsは、世界が(本当は)つながっていることを思い出させてくれるきっかけで、多様性が価値を生み出すということを知りやすく整理できるツールなのです。SDGsを対話のツールとして活用し、大阪の多様な団体が連携・協働して課題解決をすすめてほしいと思います。



SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するカードゲーム「2030SDGs」のファシリテーターとして活動

こどもの食料費が出るんです。10人大人が食べてくれると、7人分のこどもの食料費になるそうです。つまり、こども食堂に食べに行く、そこで食べられるこどもが増えるんです。大人が食べちゃうと、こどもの食料を食べちゃうんじゃないかなと、心配する人もいますけど。逆ですね。実はこども食堂に食べに行くことが応援に繋がります。ぜひみなさんも食べ

に行つて応援するということ、考えていただければいいかなと思います。

上野谷

大阪、西日本だけじゃなくて、オールジャパンで、こどもを真ん中において、こどもからエネルギーをいっただきながら、良い地域に良い私になつていけるようにお互いを研鑽し合いたいと思います。ありがとうございます。



チームワークを活かして競技します

者、参加者は、チームに分かれて、得点をスコアカードに記入して競い合います。この競技はダーツ(矢)を投げるだけ

「ダーツ」と聞いてどんなイメージを持ちますか？うす暗い酒場・張り詰めた空気・孤独な競技……こんなことが頭に浮かびませんか？特定非営利活動法人日本ウエルネスダーツ協会の理事長上田豊さんは、そんなダーツのイメージを一新して、こどもから高齢者、障がい者まで誰もが楽しめる健康的なスポーツにしたいと考えました。

福島区老人センターでは毎週水曜日に、地域の人がダーツを楽しみます。参加者は、チームに分かれて、得点をスコアカードに記入して競い合います。この競技はダーツ(矢)を投げるだけ

問合せ

TEL.06-6136-7130 FAX.06-6373-1607
info@welldarts.org
http://www.welldarts.org/

特定非営利活動法人 日本ウエルネスダーツ協会

平成30年度大阪市ボランティア活動振興基金を助成した団体を取材します。助成事業名「地域福祉的な非営利活動法人支援事業 初期期支援」

ボラ基金助成団体へ突撃取材



理事長 上田豊さん

けでなく、得点を計算しながら次の狙いを考える頭脳戦なのです。

上田さんは「ダーツを的に投げるのに力は要りません。指、手、腕の微妙な加減や正しい姿勢が必要なので、それが脳の活性化や体幹の強化につながります。またゲームを通じて人との交流も期待できます」とその効用を説明します。

今、地域の協力もあって、市内の公民館・福祉センターなどでウエルネスダーツが広がっています。その中で、サークル活動として本格的に始めたクラブも増えていきます。

しかし、まだまだ知名度や指導員などマンパワーも不足しています。「もっと様々な場所ですぐの人が参加できるように行政や民間企業とも連携していきたい」と上田さんの夢は広がります。

ボランティア活動総合補償制度のご案内

ボランティア・市民活動行事保険

補償概要	日本国内においてボランティア団体や各種の市民団体が主催する行事の参加中に ①行事参加者が急激かつ偶然な外来の事故でケガをした場合の(傷害保険) ②主催者が参加者または第三者の身体や財物に損害を与えた場合の(賠償責任保険)						
加入資格	大阪市の社会福祉協議会、大阪市の社会福祉協議会の会員団体および 大阪市の社会福祉協議会で、把握または登録されたボランティア・市民活動団体。						
対象行事	加入資格を満たしたボランティア・市民活動団体が主催する行事を対象。 ①社会福祉協議会やその会員、登録団体が共催・後援する行政が主催する行事。 ②団体の自助活動(懇親会等)も対象。 ※学校管理下の活動(クラブ活動、課外活動)や一般の営利団体が実施する行事は対象外。						
保険期間	行事期間中(開催日の前日までに手続きが完了していること)						
保険料	行事参加者の傷害危険補償特約付普通傷害保険(宿泊を伴わない1日行事)						
(Ⅰ型)	最少加入人数・・・20名以上 名簿・・・備え付けが必要(申込時提出で往復途上も対象)						
	行事区分	A		B		C	
	保険料	1名につき30円		1名につき134円		1名につき262円	
(Ⅱ型)	国内旅行傷害保険(宿泊を伴う行事) 最少加入人数・・・1名以上 名簿・・・申込時提出						
	宿泊日数	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日
	保険料	229円	281円	289円	342円	350円	358円
(Ⅲ型)	施設入場者 の傷害危険補償(宿泊を伴わないかつ参加者が事前に確定できない1日行事) 最少加入人数・・・20名以上 名簿・・・不要 ●Ⅰ型の行事区分表「A」でかつ、建物内(施設内)で開催する行事、または屋外の場合は、開催場所の境界が明確に区分できる会場(公園・グラウンド等)で開催する行事に限る。 ※主催者の方は別途ボランティア活動保険のご加入をおすすめします。						
	保険料	1名につき30円					

★詳細はパンフレットをご確認ください。

★その他、ボランティア活動保険、非営利・有償活動団体保険、移動中事故傷害保険があります。

●取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 株式会社 島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階

TEL.06-6252-4519 FAX.06-6245-4686



ボランティア保険H.P

まちがいが許されるレストラン「てへろキッチン」

特別養護老人ホームラヴィータウノ×此花区社会福祉協議会

福祉施設や企業、ボランティア等で構成されたてへろキッチン実行委員会が主催する「何歳になっても認知症になっても輝ける」をコンセプトにしたてへろキッチンは、此花区にあるGarden Terrace 舞洲キッチンで不定期開催しています。



笑顔でお客さんをおもてなし

お客さんもスタッフの一員

てへろキッチンは認知症を抱えた高齢者がホールスタッフを担うために、「注文をとり間違える」「注文した料理とは違う品を届ける」など通常のレストランではクレームの対象になるような間違いが様々な場合で起こるかもしれません。それでも愛嬌たっぷりにてへろと照れ笑いを浮かべ、べろつと舌を出すホールスタッフの、ひたむきさにお客さんはなぜか（怒るどころか）癒されてしまうようです。

料理はGarden Terrace 舞洲キッチンが提供。普段は、ハーフビュッフェスタイルのレストランですが、「コース料理仕立

てで全ての料理提供をホールスタッフが、お客さんとの交流をできるだけたくさん持てるようにしたい」と相談したところ、この日だけのフルコースが実現しました。コースが進んでいく中で、ホールスタッフが次に何の料理を運ばいいのかわからない場面では、お客さんが「次は〇〇ですよ」と教える姿がありました。

主役はホールスタッフ

立ちあげのきっかけは東京で行われた「注文をまちがえる料理店」です。特別養護老人ホームラヴィータウノ副施設長の中川春彦さんが、SNSでこの活動を知り、大阪でもやってみたく、此花区社会福祉協議会に相談すると共感が得られ、準備が始まりました。

資金は、企業から得た協賛金や、製作したグッズの収益金から捻出。当日のスタッフは、企業やボランティアグループの協力を得ました。会場は、中川さんがレストランに飛び込みで交渉するところから始まり、無償で提供してもらえらることになりました。

2019（令和元）年10月の第2回てへろキッチンでは、ラヴィータ以外からもホールスタッフを募り、此花区と福島区から総勢15人のホールスタッフが集ま



パンのとりわけも大事な役割です

り、レストラン全面協力のもと、完全貸し切り、80人のお客さんが詰めかける大イベントになりました。

「てへろキッチンの主役はあくまでもホールスタッフ。フォロースタッフをはじめとするイベントスタッフが前に出すぎないようにと何度もスタッフ間で確認し合っています。各ホールスタッフから充実した『疲れた』を引き出せるようにこれからも工夫を重ねていきたい」と中川さん。

今後も、てへろキッチンの活動を通して「間違えても笑顔で認めてもらえる環境があれば、認知症になっても恐れることはない」と発信していきます。

今後の開催情報は
てへろキッチン実行委員会の
facebookページをご覧ください。

問合せ：此花区社会福祉協議会
TEL.06-6462-1224 FAX.06-6462-1984



厚生労働大臣表彰受賞!!

長年、継続的な福祉分野等のボランティア功労者に対して贈られる厚生労働大臣表彰。令和元年度、大阪でこの賞を受賞した2つのボランティアグループを紹介いたします。

すみれの輪・和・話

グループすみれ(西区)

西区で1991(平成3)年4月に活動を開始した「グループすみれ」が、令和元年度厚生労働大臣表彰を受賞しました。



グループすみれのみなさん

「すみれさん」の愛称で呼ばれているこの団体は、自分たちができることで少しでもお役に立てればという想いを代々引き継ぎ、27年間高齢者へのボランティア活動を続けてきました。週2、3回、西区のデイサービスセンターで、利用者の整髪やお話相手などの活動をしています。また、西区や西区社会福祉協議会、高齢者会、高齢者施設のイベントでも、運営補助や車イス介助、外出支援などのボランティアとしても活躍しています。



西区長岸本孝之さんと代表徳井ツナ子さん(右)

長く活動しているからこそその気つきもあり、デイサービスでは、ちょうど空いた時間に、利用者さんが気軽に楽しめるカルタや簡単なゲームなどを取り入れたい、という提案ができればと考えています。

「おせっかいかもしれないけど、利用者のみなさんには楽しい時間を過ごしてほしい。私たちはみなさんから元気をもらっているんですよ。これからは、自分自身の健康を守りつつ、みなさんに喜んでいただけるよう、また役立っていけるよう、協力と努力をしていきたい」と、代表の徳井ツナ子さんは言います。メンバー同士の学びあい精神が豊富で、活動歴の差を感じさせないところも魅力のひとつかもしれません。

ときどき、記者、竹嶋政宏

朗読ボランティア・身近な地域情報を届けるために

東住吉区朗読ボランティア「なでしこ会」(東住吉区)

令和元年度、厚生労働大臣表彰を受賞した東住吉区朗読ボランティア「なでしこ会」は東住吉区に住む、視覚障がいの方の自宅に、東住吉区の広報紙「なでしこ」等を毎月録音し郵送する活動を30年にわたって続けてきました。早川福祉会館点字図書室で図書の録音をしていた仲間7人の、もっと身近な地域の情報を届けたいという思い



毎月広報紙を録音しています

が始まりました。現在は16人の会員がいます。録音は毎回当番を決めて担当し、二文字一句チェックし、二つでも間違いがあればやり直し、ダビングすると1日ばかりになることもあるそうです。

今、25人前後の視覚障がいの人たちに郵送しています。書かれた内容を正しく、分かりやすく音訳することは、緊張する大変な作業です。毎月、アクセントや滑舌の訓練に励み、言葉磨きをして、正しく伝えることを最も大事にしています。

広報紙以外にも教養、娯楽などの情報も録音していて、喜ばれています。録音室での緊張感から解放された後のミーティングは優しい温かな空気の中にも凛とした厳しさがあり、言葉をお届けするボランティアの大変さが伝わってきました。

ときどき、記者、玉置成子



(前列右から)東住吉区長上田正敏さんと東住吉区社会福祉協議会の川本公夫会長となでしこ会のみなさん

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



情報マーケット掲載団体に 問合せするのに便利なQRコード

- 1 気になる情報があれば、スマホで
下記QRコードをQRコードリーダー
で読み取る
- 2 掲載団体の情報一覧を
ダウンロード!!
- 3 問合せ先、
団体ホームページなどに
アクセスできます!



④ こどもの学習支援教室をお手伝いしてくれる人を募集

みんなで学ぶ教室

いろいろな事情で学習の機会を無くしているこどものために、一緒に考え、活動してくれる仲間を募集しています。これから活動していく新しいグループです!

日 程 毎週金曜日(17:00~21:00)

場 所 天王寺区堂ヶ芝 ※詳細については、個別にお伝えします
JR「桃谷」駅 徒歩5分

人数・条件 学習以外の面で子どもたちをサポートしていただける人

申込方法 Eメール ※詳細については、折り返しご連絡します

問合せ▶ Eメール sbudha481@gmail.com(担当:村田)

⑤ 音訳ボランティア募集

ボランティアサークル淀の会

<https://ameblo.jp/yodonokai>

視覚に障がいがある人に届ける音声版広報をパソコンで録音してCDを作成し、発送するまでの活動です。新聞コラムなどを読む「花ごよみ」企画もあります。音訳初心者大歓迎。アナウンサー気分で見聞を広げませんか。興味がある人は上記ブログにアクセスください。

日 程 活動は月4回(平日・2時間程度)
定例会月1回(第3土曜日・2時間程度・ミーティング・研修など)

場 所 東淀川区社会福祉協議会(東淀川区菅原4-4-37)
シティバス「東淀川区役所前」徒歩1分 阪急「淡路」駅「新庄」駅 徒歩18分

人数・条件 本を読むのが好きな人
年会費:1,000円(ボランティア保険加入費含む)

申込方法 TEL・郵便・HP

問合せ▶ 〒537-0013 東淀川区豊里6-13-23
TEL/090-3825-2395 (担当:大塚)

⑥ コペルっこたちのおやつづくりをお願いします!

こども班会「コペルくん」

<https://www.facebook.com/こども班会コペルくん-623833584618960/>
毎月1回、食育や理科実験、音楽、ダンス、おはなし会などテーマを変えて、いっしょに学び、おやつを食べてくつろぎます。

日 程 4/25(土)、5/30(土)、6/27(土)、7/25(土)、8/29(土)
毎月最終土曜日 14:00~15:30

場 所 コープおおさか病院健診センター2階 会議室(鶴見区鶴見3-6-22)
地下鉄「今福鶴見」駅 4番出口 徒歩5分

人数・条件 高校生以上 定員:3人 交通費:あり

申込方法 TEL・FAX・Eメール 締切:なし

問合せ▶ TEL/06-6914-1175 FAX/06-6914-1101
Eメール coop-osaka@health-coop.jp(担当者:西峯)

① レンタルヨット活動のボランティア募集

一般社団法人 セーラビリティ大阪

<http://www.sailabilityosaka.jp>

障がい者でも操縦できるアクセスディンギーヨットを使い全ての人にセーリングを楽しんでもらおうと活動しているグループです。

日 程 土、日、祝日(活動期間4月~11月末まで)
9:30~16:00ごろ

場 所 大阪北港マリーナ(此花区常吉2-13-18)
※シティバス「59系統 北港ヨットハーバー」 下車徒歩5分

人数・条件 楽しみながら活動できる人(活動時間については、ご相談ください)

申込方法 TEL・Eメール ※申し込み時、ボランティア募集の件と伝えてください

問合せ▶ TEL/090-3166-8993 FAX/06-6583-2889
Eメール fujimoto@kiboujuku.com(担当:井上)

② 「浪速区ごみゼロ計画」で一緒にまちを綺麗にしませんか?

ひとしごと館(NPO法人Co.to.hana)

<http://hitoshigotokan.jp/>

毎月第2土曜日にごみ拾いしています。住みよい街を目指して楽しく活動しています。浪速区民でなくても参加可能です。一緒にまちを綺麗にしましょう!

日 程 毎月第2土曜日(雨天延期)10:00~11:00頃

場 所 ひとしごと館(速区数津西1-5-13 1階)
地下鉄「大国町」駅 2番出口 徒歩5分

人数・条件 どなたでも

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/06-6710-9130 FAX/06-7635-8227
Eメール info@hitoshigotokan.jp(担当者:遠藤)

③ 1年生かんげいイベント 出前講座「逃走中」

西淀川区子ども・子育てプラザ

<http://www.osaka-kosodate.net/plaza/nishiyodogawa/>

逃走中のハンター及び運営のサポーターを募集しています!

日 程 4/11(土)12:00~17:30

場 所 大阪市立姫島小学校(西淀川区姫島1-10-4)
阪神「姫島」駅 徒歩5分

人数・条件 高校生以上 定員:10人

申込方法 TEL・来所

問合せ▶ 〒555-0025 西淀川区姫里2-13-22
西淀川区子ども・子育てプラザ
TEL/06-6474-7245 FAX/06-6474-7245
Eメール nishiyodogawaku-plaza@osaka-kosodate.net(担当者:鈴木)



トライアスロンの迫力を間近で
感じながら活動してみませんか!



Voice

ここでは、過去に
“情報マーケット”で掲載した
団体の声をご紹介します!

団体名 **大阪城トライアスロン大会組織委員会事務局**



どんな活動をしていますか?



大阪城公園並びに周辺特設コースを使用して大阪城トライアスロン大会を開催しています



参加ボランティアの具体的な活動内容は?



大会前々日は選手のナンバーカードや参加賞の袋詰め作業、前日には競技説明会の受付や運営補助、大会コース関係の設置活動をお願いしています。大会当日は、主に沿道警備や観戦者の誘導をお願いしています。参加選手はもちろん大阪城公園を訪れたすべてのみなさまに、大阪の「おもてなし」の心で接してください



掲載された後、みなさんからの反響はいかがでしたか?



問合せも多く、学生さんから社会人のみなさまに幅広く活動をしていただけました

なお、申込みの際は、メールで[atoptan.jp]を受信できるように設定をしてください。迷惑メールでご連絡が届かないことがあります。

⑦大阪城トライアスロン2020大会の運営ボランティアを募集

大阪城トライアスロン大会組織委員会事務局

平日 土日祝

<http://eventdev.osaka-triathlon.com>

大阪城の濠を泳ぎ、都心を自転車で駆け抜け、大阪城を望みながら走るトライアスロンレース。国際大会の運営にぜひともお力添えを。

日 程 前々日:5/22(金) 13:00~18:00ナンバーカード・参加賞等の袋詰め、設営作業
前日:5/23(土) 9:00~17:00会場設営作業、その他大会準備作業 他
当日:5/24(日) 7:00~17:00大会当日 エイドステーション、コース沿道管理、観戦者誘導・案内、競技補助、通訳業務、設営・撤去作業 他

場 所 大阪城公園及び周辺特設コース(中央区大阪城1) 地下鉄「森ノ宮」駅 1番出口、3-B番出口 JR「大阪城公園」駅、「森ノ宮」駅 すぐ

人数・条件 高校生以上 大会前々日20人 大会前日100人 大会当日400人

交通費:500円のQUOカードを配付 食事:23・24日軽食あり
※ボランティア活動に従事していただいた人全員にスタッフTシャツ配布

申込方法 メール・HP 締切:4/12(日) 17:00まで
申込みHP <https://eventdev.osaka-triathlon.com/ja/volunspecs20>

問合せ▶ TEL/06-7177-6165 Eメール oct-office@optan.jp (担当者:古郷)

⑩シンポジウム「どうなる?どうする?私たちの子育て」

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

土日祝

<http://www.savechildren.or.jp>

「子育てハッピーアドバイス」シリーズの明橋大二さんを基調講演に迎え、「たたくず、どならず」こどもたちと向き合っていく方法を考えるシンポジウムです。

日 程 4/29(水・祝) 14:00~16:30

場 所 大阪市立こども文化センター(此花区西九条6-1-20) JR・阪神「西九条」駅 徒歩5分

人数・条件 どなたでも 定員:250人(先着順) 参加費:無料

申込方法 TEL・HP

問合せ▶ TEL/06-6232-7000 FAX/06-6232-7001
Eメール japan.kosodate@savethechildren.org (担当者:伊藤)

⑧高校留学生のカウンセラー大募集!(英語使用)

日本国際交流振興会(JFIE)

平日 土日祝

<https://www.jfie.gr.jp/about/recruit/>

高校留学生とホストファミリーへの月2回の電話カウンセリング、レポート提出に加え、留学生の日本滞在のサポートをお願い致します。

日 程 8月下旬~2021年6月初旬(最長10カ月間) ※ご都合の良いお時間

場 所 基本的には電話・メール対応のみ

人数・条件 日常会話レベルの英語力要、社会人経験必須
(まずは郵送資料をお送りしますので送付先をお知らせください)
定員:数人 交通費:あり ※詳しくはおたずねください

申込方法 TEL・FAX・Eメール・郵便・HP 締切:なし

問合せ▶ 〒531-0072 北区豊崎3-20-12 パールグレイビル2階
TEL/06-6374-0328 FAX/06-6374-0329
Eメール jfie-inb@jfie.gr.jp (担当者:竹内)

⑪第19回 子育てボランティア養成講座

阿倍野区子育て支援連絡会

平日

こどもも地域も一緒に育とうご近所応援団!ちょっとした手助けが求められています。見守り、声かけから「子育てボランティア」をしてみませんか?

日 程 5/29~7/3(毎週金曜日) 10:00~12:00

場 所 阿倍野区内 ※毎回、会場が変わります。

人数・条件 どなたでも 定員:20人(多数抽選)
参加費:1,000円(資料代・保険代含む)

申込方法 TEL・FAX・郵便 締切:5/9(土)必着

問合せ▶ 〒545-0021 阿倍野区阪南町2-23-21 阿倍野区子ども・子育てプラザ
TEL/06-6623-2096 FAX/06-6623-2096
(担当:「子育てボランティア養成講座」係)

⑨2020年度介護オンブズマン養成講座

特定非営利活動法人 介護保険市民オンブズマン機構大阪

平日

<https://o-netnpa.site/>

「介護施設を見る目」を養います。利用者・家族と施設関係者が対立するのではなく協働することで、気づきと対話を促す活動です。

日 程 ●基礎講座:4/16(木)・23(木)・30(木)
※16日・23日は13:15~16:45、30日は10:30~16:00
●体験実習:5/1(金)~27(水)(いずれかの日で2時間 各自選択可)
●演習:5/28(木) 10:30~16:00

場 所 介護保険市民オンブズマン機構大阪(東成区中道3-2-34) JR・地下鉄「森ノ宮」駅 「玉造」駅 徒歩7分 体験実習:大阪・兵庫・奈良・京都の介護施設

人数・条件 定員:30人 参加費:10,000円

申込方法 TEL・FAX・郵便(ハガキ)・来所・HP

問合せ▶ 〒537-0025 東成区中道3-2-34 (担当者:堀川)
TEL/06-6975-5221 FAX/06-6975-5223

⑩手話奉仕員養成講座【初級コース】

住吉区社会福祉協議会

<http://www.sumiyoshi-wel.net/>

手話技術をマスターして、聴覚障がいのある人とコミュニケーションを図れるようになりませんか？

日 程 2020年4/15～2021年2/17 (毎週水曜日) 19:00～21:00
(開講式4/9北区民センター、閉講式2/20)

場 所 住吉区民センター(住吉区南住吉3-15-56)
南海「沢之町」駅 徒歩5分

人数・条件 区内在住・在勤・在学(高校生以上) 定員:40人
参加費:3,300円(テキスト代)

申込方法 郵便 締切:3/20(金・祝)
往復ハガキに住所・氏名・フリガナ・年齢「手話奉仕員養成講座」を記入のうえ送付

問合せ▶ 〒558-0021 住吉区浅香1-8-47 住吉区社会福祉協議会(担当者:地域支援担当)
TEL/06-6607-8181 FAX/06-6692-8813
Eメール chikishien@sumiyoshiwel.or.jp

平日

継 ↓

⑫音訳・点訳ボランティア養成講習会受講者募集!

大阪市立早川福祉会館点字図書館

<http://www.lighthouse.or.jp/hayakawa/>

見えにくい・見えない方のために、図書や情報を音声や点字で届けてみませんか?初心者向けの講習です。経験の有無は問いません。

日 程 〈音訳ボランティア〉全26回
午前の部 6/18～12/17(毎週木曜日) 10:00～12:00
夜の部 6/17～12/16(毎週水曜日) 18:30～20:30※8/12は休講
〈点訳ボランティア〉全19回
午前の部 6/3～10/14(毎週水曜日) 10:00～12:00※8/12は休講
夜の部 6/5～10/23(毎週金曜日) 18:30～20:30※8/14は休講

場 所 大阪市立早川福祉会館(東住吉区南田辺1-9-28)
地下鉄「駒川中野」駅 徒歩10分 「西田辺」駅 徒歩15分
人数・条件 音訳ボランティア 各20名(発声テストなど事前選考あり)
※事前選考日 午前の部:6/4(木) 夜の部:6/3(水)
点訳ボランティア 各20名(申込者多数の場合は抽選) 参加費:無料

申込方法 TEL・FAX・Eメール・郵便・来所 締切:5/29(金)必着
※受講を希望される人は、必ず「事前説明会」に参加してください。

問合せ▶ 〒546-0033 東住吉区南田辺1-9-28 TEL/06-6622-0123 FAX/06-6622-0020
Eメール hayakawa-f@k2.dion.ne.jp (担当者:教文)

平日

継 ↓

⑰ワイワイほっとサロン 第2回 一日だけの演芸会

西区社会福祉協議会 大阪西区100才倶楽部

<http://nishi-fukushi.or.jp/>

地域の福祉を支えるボランティアさんは地域の人の声援が元気の素。おなじみの「ワイワイほっとサロン」を拡大、歌・演奏・ダンス・手品とお茶でお迎えます。

日 程 4/27(月) 10:00～13:30

場 所 西区社会福祉協議会(西区新町4-5-14 西区合同庁舎6階)
地下鉄「西長堀」駅 4A出口すぐ

人数・条件 どなたでも 参加費:無料(喫茶コーナー利用の場合100円)

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/06-6539-8075 FAX/06-6539-8073
Eメール ku-shien@nishi-fukushi.or.jp (担当:地域支援担当 島崎)

平日

単 ↓

⑬初級手話講習会

北区社会福祉協議会

<http://osaka-kitakusyakyoku.com/>

6か月間で基礎的な手話が身につきます。初級コース終了後、続けて手話スクールでステップアップも!

日 程 5/8～10/23(毎週金曜日) 18:30～20:30
※7/24・8/14を除く

場 所 大淀コミュニティセンター(北区本庄東3-8-2)
地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」駅 徒歩8分

人数・条件 初めて手話を学ばれる人 定員:40人(先着順) 参加費:無料

申込方法 TEL・FAX ※4/6(月)から受付開始

問合せ▶ TEL/06-6313-5566 FAX/06-6313-2921
Eメール kitamail@osaka-kita.kusyakyoku.or.jp (担当者:清藤)

平日

継 ↓

⑱オーケストラファミリーコンサート2020

特定非営利活動法人 子どもセンターあさひ

協賛 大和ハウス工業(株)

<http://www.kodomo-center.org>

「オーケストラファミリーコンサート」(演奏:大阪交響楽団)フルオーケストラの演奏を赤ちゃんから参加できます。クラシック音楽専用ホールで、より上質の文化体験をこどもたちに届けます。楽器体験の時間も設け、より身近に体験できます。

日 程 5/6(水・祝) 開演 11:00(上演時間 約70分・休憩なし)

場 所 住友生命いずみホール(中央区城見1-4-70)
JR「大阪城公園」駅 徒歩5分 地下鉄「大阪ビジネスパーク」駅 徒歩10分

人数・条件 どなたでも
参加費:大人3,500円+税
子ども(3才以上)～大学生 2,000円+税(当日券500円増)

申込方法 メール・FAX

問合せ▶ TEL/06-6951-0055 FAX/06-6951-0056
Eメール asahi@kodomo-center.org

土日祝

単 ↓

⑭がいこくのみなさん。ニホンゴでおはなししましょう!

ピア・ジャパン

日本語教師(にほんごきょうし)のボランティア団体(だんたい)です。日本(にほん)で生活(せいかつ)する外国(がいこく)のみなさん、日本語(にほんご)でおはなししませんか?

日 程 ①4/19(日) ②5/17(日) 14:00～16:00

場 所 コンフォートスペース本町
(西区阿波座1-11-18昭和和本町ビル301号室)
ちかてつほんまちえきとほ ほん
地下鉄「本町」駅 徒歩3分

人数・条件 どなたでも 定員:10人(先着順) 参加費:300円

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール peer.japan@gmail.com (担当者:多賀)

土日祝

単 ↓

⑲MSISKしぜんひろばin二上山 version3

特定非営利活動法人MSISK

<https://www.msisk.net>

自然を感じながら、一緒にハイキングしませんか?

日 程 4/25(土)9:00～16:00

場 所 二上山(南河内郡太子町大字山田付近)
集合場所①近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅 西改札口前(8:50集合)
集合場所②近鉄南大阪線「二上山」駅改札口前(9:50)
お申し込み時に集合場所①か②をお伝えください。

人数・条件 どなたでも 食事:昼食持参願います
定員:20人(先着順) 参加費:500円(行事保険料込み)

申込方法 TEL・Eメール 締切:4/24(金)

問合せ▶ TEL/06-7505-4435
Eメール info@msisk.jp (担当:町田)

土日祝

単 ↓

⑮パソコンなんでも相談室 「あなたのコンピュータは大丈夫?セキュリティ講座」

東住吉区ボランティア・市民活動センター

<https://sawayaka-c.ne.jp/>

東住吉区の登録ボランティアグループであるNPO法人南大阪電腦支援集団によるミニ講義なんでも相談を行っています。パソコンに関する疑問を解決できるチャンスです。ぜひご参加ください。

日 程 4/4(土)13:30～15:30

場 所 東住吉区在宅サービスセンター(さわやかセンター)
(東住吉区田辺2-10-18)
地下鉄「田辺」駅 徒歩7分 JR「南田辺」駅 徒歩8分、
近鉄「今川」駅 徒歩10分 市バス「東住吉区役所前」 徒歩8分

人数・条件 どなたでも ※パソコン持ち込みOK 参加費:無料

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/06-6628-2020 FAX/06-6622-8973
Eメール tiikikatudou@higashiumiyoshikusyakyoku.or.jp (担当:萩野)

土日祝

単 ↓

23 第32回 地域福祉を支援する「わかば基金」

NHK厚生文化事業団

<https://www.npwo.or.jp/info/16422>

「わかば基金」は、地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための支援をしています。

- 助成対象**
- ① **支援金部門**：1グループにつき、最高100万円(50グループほどを予定)
対象：国内のある一定地域に福祉活動拠点を設け、より活動を広げたいグループ
 - ② **リサイクルパソコン部門**：総数50台程度(1グループにつき3台まで)
対象：すでに福祉活動(高齢者・障がい者)に取り組み、台数を増やすことで、より活動の充実を図れるグループ
 - ③ **災害復興支援部門**：1グループにつき、最高100万円(20グループほどを予定)
対象：東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた被災地域に活動拠点が有り、そこで復旧・復興をすすめているグループ、または、新たな福祉事業を展開したい、と考えているグループ

申請方法 申請書に必要事項を記入し、その他 提出書類を添付して郵送してください(申請書はHPよりダウンロードできます)

応募締切 3/31(火) 必着/郵送のみ受付

問合せ ▶ 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 NHK厚生文化事業団「わかば基金」
TEL/03-3476-5955 Eメール info2@npwo.or.jp

20 心の声に耳を傾ける活動をしませんか? 傾聴ボランティア養成基礎講座

北区傾聴ボランティアの会

(協賛 北区ボランティア・市民活動センター)

コミュニケーションが益々大切になる中、私たちは地域の良き聴き相手になる様に精進しています。介護など、会話に困った事のある人は、ぜひ受講してみませんか?

日 程 どちらかご希望のコースをお選びください
5月コース 5/23(土)、5/30(土) 13:00~15:00
6月コース 6/13(土)、6/20(土) 13:00~15:00

場 所 北区社会福祉協議会(北区神山町15-11)
地下鉄「東梅田」駅 徒歩9分、「扇町」駅 徒歩8分、「中崎町」駅 徒歩5分
JR「天満」駅 徒歩10分

人数・条件 どなたでも 定員：15人(先着順) 受講料：1,000円(資料代)
参加費：1,000円(資料代)
※基礎講座修了者は、本格的に学べる実践コース(7月に2日間予定)があります

申込方法 TEL

問合せ ▶ TEL/090-6061-5539 (担当:大宮)

24 第72回 保健文化賞 第一生命保険株式会社

<https://www.dai-ichi-life.co.jp>

わが国の保健衛生の向上に取り組む団体・個人に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設されました。厚生労働省などの後援を得て毎年実施しており、2020年で72回を迎えた。当社において最も長い歴史をもつ社会貢献活動です。

- 表彰対象**
- 1.保健衛生(関連する福祉等を含む)を実際に著しく向上させた団体あるいは個人
 - 2.保健衛生(関連する福祉等を含む)の向上に著しく寄与する研究または発見をした団体あるいは個人
- 厚生労働大臣賞(表彰状)/第一生命賞(感謝状:賞金 団体200万円、個人100万円)
※「朝日新聞厚生文化事業団賞(記念品)/NHK厚生文化事業団賞(記念品)
※「募集にあたっての詳細内容は、募集要項をご覧ください」

応募方法 規定の応募用紙(ダウンロード)を使用し、下記に郵送またはワードデータをEメールで送信してください。(HP参照) 締切:4/17(金) 消印有効

問合せ ▶ 〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1
第一生命保険株式会社 DSR推進室 保健文化賞担当
TEL/050-3780-6950 Eメール hobun1950@dl.dai-ichi-life.co.jp

21 雑炊食べて国際協力「ぞうすいの会」

公益社団法人アジア協会アジア友の会(JAFS)

<https://jafs.or.jp/>

季節の雑炊をいただきながら、アジア協会アジア友の会の海外支援のお話を聞きます。アジアの農村に井戸を贈る支援費に充てる活動として開催。お昼の休憩時間についても違う世界を旅してみませんか?

日 程 毎月第2火曜日 直近の開催4/14(火)・5/12(火)に予定(12:00~13:00)
※お昼休憩に合わせて途中参加、退場もできます

場 所 アジア協会アジア友の会 会議室(西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5階)
地下鉄「肥後橋」駅 徒歩1分、「淀屋橋」駅 徒歩6分

人数・条件 どなたでも 定員:20人(先着順) 参加費:500円

申込方法 TEL・Eメール

問合せ ▶ TEL/06-6444-0587
Eメール asia@jafs.or.jp (担当:柿島)

25 2020年度大阪帝塚山ロータリークラブ社会奉仕基金助成金募集

大阪帝塚山ロータリークラブ

<http://osaka-tezukayama-rc.cocolog-nifty.com>

ロータリークラブを通じて社会奉仕活動を行っています。その奉仕活動の一環として、旧大阪阿倍野ロータリークラブ会員が拠出した資金で基金を設け、10年間に渡り社会奉仕活動を助成することになりました。この助成金は、助成後1年以内に達成される社会奉仕活動プロジェクトを応援するものです。

応募要件 社会奉仕活動をしている団体。ただし、申込者または団体は、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀県内限定
※その他詳細については上記HPを参照

助成金額 年間3団体助成。(助成額は1団体あたり30万円を上限)

応募方法 申請書・PR資料はA4用紙に各1枚(計2枚)で必要事項を記入のうえ、Eメールで送信ください
(HP参照 各書式は必要事項が含まれていれば自由作成 詳細はHPを参照)

応募期間 締切:4/30(木) 厳守 問合せ ▶ Eメールのみ受付 ※郵送・TELは不可

問合せ ▶ Eメール osaka.tezukayama.r.c@gmail.com

22 2020年度配食サービス車「毎日ふれあい号」贈呈先募集

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

http://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijigyoo/

配食サービス車「毎日ふれあい号」1台を贈呈します。デベロ社製、軽ワゴンの特別仕様車(ベース車両はダイハツハイゼットカーゴ660cc)で32食の積載が可能です。

助成対象 地域で高齢者や障がい者を対象にした配食サービスを行っているボランティア団体、民間団体、施設など
※対象地域:北陸、中部、近畿、四国、中国地方(山口県を除く)

申請方法 希望理由や配食サービス事業の概要や事業実績、収支報告書(会計報告)や、事業計画、予算書、団体の概要などの書類をつけて郵送
締切:5/15(金) 必着 ※詳細はHPをご覧ください

問合せ ▶ 〒530-8251 北区梅田3-4-5
TEL/06-6346-1180 FAX/06-6346-8681

大切なお知らせ!!

※情報マーケットの掲載のイベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急きよ事前の連絡なく中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

参加前には必ず団体に
問合せください



私たちの福祉教育オンリーワン

大野 波(45歳)



プロフィール
平野地域福祉活動コーディネーター
趣味:スポーツ

地域で暮らす多様な人たちと出会い、一人ひとりの存在を大切にするために自分ごとで行動すれば良いかを考える福祉教育。これまで福祉教育に関わってきた人が毎号1人登場しています。

数年前、交通量の多い道路脇で座り込んでいた男性高齢者に「大丈夫ですか?」と声をかけると、「ありがとう。1時間ほどここにいます。声をかけてくれたのはおねえちゃんだけや」と言われた言葉が記憶にずっと残っています。地域や隣近所の繋がりが希薄になり、関わりたくない・巻き込まれたくないと思う人が多くなつたように感じます。



認知症役の人に声をかけるふれあい員

平野区平野地域で以前、頻繁に徘徊する人に、ふれあい員(見守りボランティア)が声をかけ自宅へ送り届けた事や、一緒に散歩に付き合ったケースもありました。「知っている人だから声をかける事ができるけど、知らない人には声をかけづらい」の一言が始まりで、2015(平成27)年に、ふれあい員研修の「環として、困っている人に気軽にやさしく声かけられるようになる為の「声かけ見守り訓練」がスタートしました。

研修で認知症や障がいについての知識、「気づく」「声をかける」「つなぐ」事の大切さ、そして「声かけ」のポイントなどを学び、「声かけ見守り訓練」に挑みます。参加者が感じた「気づき」を共有し、「自分たちができること」を一緒に考えます。

この訓練を重ねてきて、「歩いている人を気にかけるようになった」「自分に置き換えて考えるようになった」など、ふれあい員の中で見守りの意識が確実に変わってきたようです。これからも気軽に声を掛け合える地域をめざし、みんなと関係機関も交えて一緒に「声かけ見守り訓練」を進めて参ります。

私たちの福祉教育オンリーワン リレーコラム執筆者

- | | | | |
|------------|-----------------|------------|---------|
| 5月(236)号 | 鈴木裕己さん | 11月(241)号 | 楠本香代子さん |
| 6月(237)号 | 山本美恵子さん&Felicia | 12月(242)号 | 武田泰彦さん |
| 7月(238)号 | 梶本佳史さん | 1・2月(243)号 | 中谷まゆみさん |
| 8・9月(239)号 | 堤あやかさん | 3月(244)号 | 草部眞美さん |
| 10月(240)号 | 谷口真大さん | 4月(245)号 | 大野波さん |

この連載では、障がい当事者、専門職、市民活動にかかわる人など多様な人たちが、こどもたちの学びや地域住民一人ひとりの困りごとをみんなで理解し、「支え手」「受け手」という関係を超越して誰もが役割を持ち、お互いを尊重し存在を認め合うことができるような社会としていくことを伝えてきました。

「みんなちがってみんないい」そんなやさしさであふれた福祉のまちづくりのために、福祉教育はおこなわれています。

執筆いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました!

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしています。どしどしお寄せください。

申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌[COMVO]編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:阪井・縄・金沢)
※本誌の発行日は8月と1月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
(例:2020年5月15日発行号(6月号)に掲載希望の場合は3月末まで)



おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

- あなたのボランティア活動歴を教えてください。
アなし イ1年未満 ウ1～4年 エ5～9年 オ10年以上
- 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
- これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
アある イなし ウまだ迷っている(その理由も教えてください)
- 今月号で良かった記事は何ページですか?その理由も教えてください。
- 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
- その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>



(宛先)
大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO245号係」まで
(住所は下記参照)

※締め切り 2020(令和2)年4月10日(消印有効)
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

大阪シティ信用金庫
社会貢献活動トピックス

「OSAKA 5GO!WALK」に協賛・参加

当金庫の東淀川支店は、12月7日、大阪経済大学主催・東淀川区共催の「OSAKA 5 GO! WALK」に3年連続で協賛・参加しました。これは、同大学と同区が「災害に強いまちづくりに関する連携協定」にもとづき開催する「防災意識向上と健康増進」を目的としたイベントです。

当日は、同支店の職員がウォークイベントに参加するとともに、その場で撮影したお客さまの写真を缶バッジに加工する「オリジナルバッジコーナー」を出店し、お子さま連れのご家族や子どもたちで賑わいました。売上金は大阪市東淀川区社会福祉協議会に全額寄付しました。

当金庫は今後も、地域の皆さまへの感謝と絆を大切に、地域活性化のためにさまざまな活動を行ってまいります。



オリジナルバッジコーナーに集まる子どもたち

ボランティア・市民活動情報誌
[COMVO]へ広告募集!

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。
それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 *ふれあいネットワーク*

大阪市ボランティア・市民活動センター

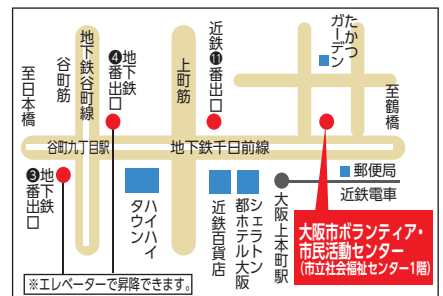
Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時30分～午後8時30分(月・水・金) 午前9時30分～午後5時(火・木・土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始
- 発行日:2020年3月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ
- 本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <http://comvo.lekumo.biz>

Osaka Metro(オオサカメトロ)(新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・蒲生四丁目・ポートタウン東 各駅)、阪神電車(梅田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商工会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫内の店舗など

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森が戻ってきた。

鳥や虫や動物が戻ってきた。

みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。

たくさん生き物が暮らす森を取り戻すことで

地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。

そして、地元の人々の生活を助けること。

地元の子どもの明るい笑顔を力にして

私たちはこれからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 おいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしなわり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0083